

学校・教育委員会等の教育関係機関に勤める方しか加入できない

## 特別な生命保険 教弘保険

弘済会はジブラルタ生命保険（株）と提携して教職員の皆様を提供

教弘保険は、教職員の皆様しか加入していただくことができない特別な生命保険です。そのためCM等による紹介や一般の生命保険を取り扱っている店舗等での紹介も行われていません。皆様の所に直接伺う学校担当LCのみがご案内させていただきます。

### 教弘保険の特徴

- **年齢による保険料増額なし**  
教弘保険は年齢・性別に関わりなく保険料は一律です。年齢が高くなったからといって保険料が上がることはありません。
- **転職・退職・病気になられても保険料そのまま**  
加入後に転職・退職、病気になられても保険料は上がりません。
- **リビングニーズ特約を無料で付加**  
余命6か月以内と診断された場合に、生存中に保険金を受け取ることができる「リビングニーズ特約」を無料で付けることができます。
- **保険金支払・給付は速く確実**  
ジブラルタ生命保険株式会社（提携保険会社）では、全学校に担当を配置し迅速に対応します。
- **保険料が低廉な分、付属保険によるニーズに応じたプランの利用も可能**



令和4年 6月号  
発行  
公益財団法人  
日本教育公務員  
弘済会岐阜支部  
Tel. 058-272-9513  
株式会社岐阜教弘  
Tel. 058-213-0502



■ 会員から寄せられた情報  
家族でリトルワールドに行ってきました。事前に調べたら日教弘クラブオフの会員割引を使うことができると分かり、それを利用しました。

母 (66歳)	1400円	↓	700円
子 (幼稚園)	300円	↓	無料
子 (中学生)	1100円	↓	400円
妻 (大人)	1800円	↓	1100円
私 (大人)	1800円	↓	1100円

### 弘済会の会費は「日教弘クラブオフ」の利用が可能

### 教弘保険加入者が利用できる福利厚生サービス・福祉事業

公益財団法人 日本教育公務員弘済会岐阜支部 (保存用)  
学校・教育機関にお勤めの教職員の皆様へ  
福祉事業(お祝い金・お祝い品等の贈答・給付)を行っています。  
申請には期間があります。  
このご案内を参考に範囲内での申請をお願いします。

左のチラシは5月当初に各学校に送付したものです。裏面に補助等の詳細が掲載されていますので、該当される場合には期限までに申請をお願いいたします。

教弘保険にご加入いただいた方（教弘会員）は、日教弘クラブオフの福利厚生サービスと弘済会岐阜支部福祉事業（給付・補助）の両方を利用することができます。

宿泊補助申請・読者の広場投稿はこちらから

- 提携保険会社  
ジブラルタ生命保険株式会社  
岐阜第1/2/3営業所  
058-267-6006  
大垣営業所  
0584-83-4500  
関営業所  
0575-22-3793  
美濃加茂営業所  
0574-25-3658  
多治見営業所  
0572-21-3732  
恵那営業所  
0573-20-0055  
高山営業所  
0577-32-1623

6月には「父の日」がある。「母の日」ほどには注目が集まらないと言ったら語弊があるだろうか。最後に勤務した中学校で、一人の女子生徒(中3)が「今でも父の日にはプレゼントを渡している」と言ったことに驚いた記憶がある。何故なら「娘は中学生ともなると自分の洗濯物を父親のものとは一緒に洗わない」と聞かされるのが多くあったからだ。様々な記念日は企業戦略の一環と言えなくもないが、お互いが大切にされる機会となってくればいいと思う。

かつて、某百貨店主権の「父の日川柳」というものがあった。最近は何にすることがなかったので終了したのかも知れないと思いつく検索したら、「父の日ができた頃、『父の日の父を残してみな出掛け』という句が作られました」とあった。思わず笑ってしまったが、10年ほど前には新聞のコラムで紹介されたこともある。その時のメモからだ。

本物の「ビールだ！ そうか 父の日か わしはええ 言いつつ横目で ゴルフシャツ 父の日に 自分で丸を 付けておく

こういう句には自虐的なものが多いが、そうすることで笑いを誘っていると言えなくもない。

教員13年目。中学2年生を担任していた私は、父親に対して素直になれない何名かの女子生徒のことが気に掛かっていた。「こうしたことはこの時期には往々にして見られることであり、特に心配することでもない」と言われる方もあるだろう。しかし、過去に中3を担任した時、進路先決定の三者懇談の場で父と娘が言い合いになったことも少なからずあり、前もって父親も含めた親子での真剣な話し合いを経験させておきたいと考え、夏休み中に「親と語る」という宿題を出した。

次の文は、「父親なんか大嫌い」といつも不満を漏らしていた△子の作文からの引用だ（一部抜粋）。

制度の廃止に伴い今年度で助成終了予定

# 教員免許更新講習補助 申請受付中

## ■ 申請ができる教弘会員の条件

- ① 令和3年度、又は令和4年度に「教員免許更新講習」を受講していること（延期・免除対象者は申請不可）
- ② ①の講習を受講後に  
令和3年4月1日～令和5年1月31日の日付で、  
県教委から「修了確認証明書又は有効期間更新証明書」  
を交付されていること
- ③ 「修了確認証明書又は有効期間更新証明書」の交付  
日以前に教弘会員となっていること

## ■ 補助内容

図書カード（3千円）

## ■ 申請受付期間

令和4年4月1日～令和5年2月15日

## ■ 申請書の入手方法

弘済会岐阜支部HP（各種様式）から入手（申請書には「証明書」のコピーを貼付してください）

- 「退職予定者セミナー」は、弘済会の提携保険会社であるジブラルタ生命保険（株）との共催で開催するセミナーで、公正中立な情報提供を目的としています。
- 教弘会員でなくても参加可能
- 退職予定でない方も参加可能
- 複数回の参加も可能

昨年度も新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、皆様方からのご要望も多く、参加人数の上限を設定したり感染防止のための対策を強化したりすることで例年通りの開催ができました。

将来の年金問題は、今や世代を問わず関心と基礎知識を持っておかなければならない大きな問題になっています。  
弘済会では、ジブラルタ生命保険株式会社（提携団体）との共催で、毎年度「退職予定者セミナー」を開催してきました。

## 今年度も退職予定者セミナーを開催予定

## 助成校紹介 岐阜市立日野小学校

今回、タブレットの接続にも対応した最新のプロジェクトアートを助成いただき、授業の資料提示や交流場面で活用しています。

1年図画工作科「まねっこびじゅつかん」では、名画をスクリーンに映し、子ども達が

今回、タブレットの接続にも対応した最新のプロジェクトアートを助成いただき、授業の資料提示や交流場面で活用しています。

1年図画工作科「まねっこびじゅつかん」では、名画をスクリーンに映し、子ども達が

絵画の中の人物に真似てみることで、作者が何を伝えようとしていたのか想像する学習を行いました。千手観音菩薩になりきった様子や、プロジェクトで撮り、プロジェクトの大画面に映して話し合い

ました。ポーズを真似てみることで、人物の気持ちを考えたり、見えない表情も想像することで描かれた人物の心情面まで考えたりすることができ、これまでにない鑑賞教育となりました。



年金支給開始年齢の問題、平均寿命が長くなったことで生じる問題などから退職後の生活設計について、早めの準備が不可欠な時代です。セミナーでは、

- 退職後の生活設計
- 年金・介護
- 資産運用

などの情報が講師から提供されます。

今年度も新型コロナウイルスの感染状況等も考慮しながら開催する予定です。ご不明な点などがありましたら、学校担当LCにお気軽にお尋ねください。

嫌な宿題は早めに終えておこうと思っていたが、結局何もできないまま夏休み最終の日曜日を迎えてしまった。自分から言い出せず、珍しく自宅にいたお父さんの近くを行ったり来たりしていたら、「どうしたんだ。何か用があるのか」とお父さんが声を掛けてきた。（中略）

：前もって考えていた質問の殆どを聞くこともできずにいる内に時間だけが過ぎてしまった。お父さんと話をしたのがいつ以来だったのか思い出せないくらい話をしないまままできていたが、お父さんが「お前が好きな道を行けばいい」と言ってくれたのがうれしかった。（中略）

：話をすると先生を恨んだけれども、夏休み前の学活で先生が渡してくれた先輩の資料にあつたように、今は話をしてみてよかったと思ってる。まだまだお父さんの前に出ると素直になれない自分だけれども、少しずついろんなことを相談してみようかなと思ってる。

私自身、理由は分からないが父親に対しては苦手意識があった。生徒の前ではよく喋るのに、父親の前ではどういふ訳か言葉が少なかつた。それは大人になってからも変わることがなく、妻は「あなたより私の方がお義父さんの昔のことを知っているでしょ」と笑ってたくらいだ。それでも父親はよく話をしてくれた。私が中学生の頃だ。農作業や植林の手伝いをさせられると、面白い私には普段以上に無口になつたが、父からは戦争の話や歴史の話、祖父のことや自身の子ども時代のことを仕事の合間にあれこれ聞かされた。繰り返し聞かされた内容も少なくなぐ、時には閉口することもあつたが、心に残っている言葉も多い。現職の頃、担任していた生徒たちに伝えた言葉「背負う荷物が増えるほど重いが知識は増えても重くはならない。増えれば増えるほどいい」もその一つだ。植林のために山に連れて行かれ、25本ずつ束ねられた檜の苗を8束背負わされた時に掛けられた言葉だ。

父が死去してから14年が過ぎたが、もう少し話をしておけばよかったと思う日々である。

